

Ocean College

～海を学び、地球を感じる体験～

活動地域  愛知県、日本全域

LOVE BLUE助成

3年目

実践

拾ったごみの量 **2,693kg**

参加者数 **678人**

今年度計画の達成度 **100%**

全体計画の達成度 **100%**



船で漂流ごみを拾う参加者

苦勞した点と工夫した点

■苦勞した点

天候に左右され、雨風が強い日は活動の予定を変更することがあった。

■工夫した点

清掃活動をオンラインで共有することで活動の広がりが生まれ、また、船での活動は予備日を多く設け、中止となっても次の月に余裕をもって活動することができた。

課題

2016年度に全国の自治体が回収した海岸漂着物はおよそ3万t。漂流ごみは船のプロペラに絡まり航行トラブルの元となる。

目標

海上漂流ごみ、海岸・港への漂着ごみを減少させ、行動の元となる環境保全への意識向上を目指す。海洋体験活動参加者や船に乗る人がごみを拾うようになる土台を作る。

活動内容と成果

- 清掃活動をオンラインで毎月実施。参加者がそれぞれの居住地の近くで清掃活動を行い、その様子や感想、拾ったごみの量をSNSにアップして全国でごみ拾いの輪を広げていった
- 船に乗り、海上での漂流ごみ清掃を行った
- 「水辺の自然環境教育Project Wild」を題材に、自然環境と自分たちの行動について考える機会となるオンライン動画を配信。海ごみ・海洋プラスチック・水の汚染・水辺に生きる生き物を中心とした問題をオンラインで考えながら学べる機会を作った



海上の清掃活動を船で開催

全助成期間の活動を振り返って

初年度は新型コロナウイルス禍となったが、それをきっかけに「#リモートゴミ拾い」が生まれ、各地で活動を行えるようになった。3年間続けてきたことで活動の認知が広がり、継続的にごみ拾いをする方が増加し、また会ったことがない方ともネットワークができて活動を続けやすい形が作られてきた。

ごみ拾いをした方からは、漂着ごみの多さやその問題点について考える書き込みも生まれ、活動自体が問題提起としての機能となっている。



清掃活動を通年全国でオンライン共有

〒232-0061
神奈川県横浜市南区大岡4-15 B502
E-mail : sail@spiritofsailors.com
HP : https://spiritofsailors.com



今後の展望

3年間活動を継続できた中で、参加者がごみ拾いから漂着ごみの多さやその問題点について考えるきっかけとなり、ごみ拾いの活動自体が問題提起として機能するようになってきた。また参加者や協力団体が増えることで活動を継続しやすい基盤が作られてきた。今後も活動を続けることで、多様な背景をもった参加者が携わり考える機会をつくっていくことを目指す。